

図書館だより

No.19

2022（令和4年）9月8日

石岡商業高校 図書委員会



秋桜の花が金風に揺れ、やさしい許し色がさわやかな青空に似合う季節となりました。9月10日（土）は秋の夜空に浮かぶ、美しい月を眺める「お月見（十五夜）」。中秋の名月です。夏が過ぎ、涼しくなり始めたこの時期に、満月の夜を見て楽しむのは、日本の秋の風物詩のひとつですね。十五夜といえば、月の中にはうさぎが居ると小さい時から聞かされてきた思い出があります。月うさぎ伝説にも諸説ありますが、一般的に言われているのは次のようなお話です。『昔、あるところにうさぎときつねとさるがおりました。ある日、疲れ果てて食べ物を乞う老人に出会い、3匹は老人のために食べ物を集めます。さるは木の実を、きつねは魚をとってきましたが、うさぎは一生懸命頑張っても、何も持ってくる事ができませんでした。そこで悩んだうさぎは、「私を食べてください」といって火の中にとびこみ、自分の身を老人に捧げたのです。実は、その老人とは、3匹の行いを試そうとした帝釈天（タイシャクテン）という神様。帝釈天は、そんなうさぎを哀れみ、月の中に甦らせて、皆の手本にしたのです。』自己犠牲が必ずしも美しいとは思いませんが他人を思いやる気持ちは大切にしたいものですね。（今昔物語集 巻5第13話 三獣行菩薩道兔焼身語 より）

第34回 読んだ感想を絵に描こう
読書感想画
中央コンクール

主催：（公社）全国学校図書館協議会／毎日新聞社／実施都道府県学校図書館協議会
 後援：文部科学省／実施都道府県教育委員会／横浜市・名古屋市・大阪市各教育委員会／全国造形教育連盟
 協賛：凸版印刷株式会社
 特別協力：株式会社竹中工務店

読書感想画とは…

「読書感想画コンクール」は、「読書の感動を絵画表現することにより、児童・生徒の読書力、表現力を養い、読書の活動を振興すること」を目的に1983年、近畿学校図書館連絡協議会と毎日新聞社との共催で近畿地域から始まりました。現在では「読書感想画中央コンクール」として一本化されました。現在38都道府県で実施しています。

高等学校の部（全学年） …………… 指定読書・自由読書の感想画。

画材・用紙

※ 詳細はポスターをご覧ください



用紙は、画用紙・ケント紙・キャンバスボード・マニラ紙・ボール紙いずれでもよい（ワク貼りキャンバスや木製パネル等厚みのある作品は不可）。画材は、クレヨン・パステル・

水彩・油絵具など自由。版画・はり絵も可とする。

寸法

感想画の寸法は、36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下の大きさとする

作品提出先

- (1)一人で指定読書・自由読書それぞれ各1点応募できる。
- (2)作品は必ず在籍校に提出すること。
- (3)作品は個人のオリジナルで未発表作品であること。他の類似のコンクールとの二重応募は認めない。
- (4)作品の裏面につぎの書式A、Bを貼付すること。
 - (A) 応募票（コピー可）に記入事項全部を記入して、作品裏面の右上に貼付のこと。
 - (B) 読んだ本にどのように感銘したか、作画の動機は何か、作画に苦心した点などを、作画感想用紙に200字以内にまとめて作品裏面の左下に貼付のこと（原則として自筆とする）。 ※所定の書式A、Bについては「8. 応募書式ダウンロード」を参照してください。

新着本案内

書名	著者名
砂に埋もれる犬	桐野夏生
人間晩年図巻 2000-03年	関川夏央
人間晩年図巻 2004-07年	関川夏央
人間晩年図巻 2008-11年3月11日	関川夏央
朝日キーワード 2023	朝日新聞出版編
塞王の楯	今村翔吾
黒牢城	米澤穂信
したいとか、したくないとかの話じゃない	足立紳
鑑定人 氏家京太郎	中山七里
木曜日の子ども	重松清
「ことば」に殺される前に	高橋源一郎
国語をめぐる冒険	渡部泰明 他

少女たちの戦争	中央公論新社編	夜が明ける	西加奈子
僕は失くした恋しか歌えない	小佐野 弾	ミシンと金魚	永井みみ
ヨーロッパ史入門	池上俊一	ミーツ・ザ・ワールド	金原ひとみ
アクトレス	誉田哲也	幸村を討て	今村翔吾
山狩	笹本 稜平	ななみの海	朝比奈あすか
皆のあらばしり	乗代雄介	正義の段階	田村和大
らんたん	柚木麻子	天国からの宅配便	柊サナカ
かくして彼女は宴で語る	宮内悠介	残月記	小田雅久仁
砂嵐に星屑	一穂ミチ	怪異猟奇ミステリー全史	風間賢二
ことばの向こうに旅をして	牧村朝子	GAノベル 魔女の旅々〈18〉	白石 定規
世界一楽しい決算書の読み方	大手町のランダムウォーカー	黛家の兄弟	砂原浩太郎
沖晴くんの涙を殺して	額賀 濤	鬼人幻燈抄 大正編 終焉の夜	中西モトオ
六人の嘘つきな大学生	浅倉秋成	世界一くさい食べもの—なぜ食べられないような食べものがあるのか？	小泉 武夫
水中の哲学者たち	永井玲衣	SDGs時代の食べ方—世界が飢えるのはなぜ？	井出 留美
生命知能と人工知能	高橋宏知	なぜ親はうるさいのか—子と親は分かりあえる？	田房 永子
ぜんぶ 愛	安藤桃子	悩んでなんぼの青春よ—頭がいいとはどういうこと？	森 毅
少女を埋める	桜庭一樹	マイテーマの探し方—探究学習ってどうやるの？	片岡 則夫
奔流の海	伊岡瞬	きみの体は何者か—なぜ思い通りにならないのか？	伊藤 亜紗
母の待つ里	浅田次郎	法は君のためにある—みんなとうまく生きるには？	小貫 篤
ブラックボックス	砂川文次	100年無敵の勉強法—何のために学ぶのか？	鎌田 浩毅
ヌマヌマ	沼野充義・恭子	はなちゃんのみそ汁 青春篇	安武信吾・はな
ペイント	イ・ヒヨン		

